

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成23年3月17日(2011.3.17)

【公表番号】特表2010-520661(P2010-520661A)

【公表日】平成22年6月10日(2010.6.10)

【年通号数】公開・登録公報2010-023

【出願番号】特願2009-551660(P2009-551660)

【国際特許分類】

H 04 N 5/225 (2006.01)

H 04 N 101/00 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/225 Z

H 04 N 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成23年1月25日(2011.1.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

あるシーンの出力画像フレームの系列を生成する電子カメラであって、

第一のセンサ出力を生成する第一のイメージセンサと、

第二のセンサ出力を生成する第二のイメージセンサと、

前記第一及び第二の画像センサで前記シーンの画像を形成する1以上のレンズと、

前記第一のイメージセンサの露光期間と前記第二のイメージセンサの露光期間とを制御するタイミングジェネレータと、前記第一のイメージセンサの露光期間は、前記第二のイメージセンサの露光期間よりも長く、

前記第一のセンサ出力と前記第二のセンサ出力から前記シーンの画像系列を実質的に同時に記憶するデジタルメモリと、  
を有することを特徴とする電子カメラ。

【請求項2】

毎秒Nフレームまでのフレームレートで、あるシーンの出力の画像フレームの系列を生成する電子カメラであって、

M個のセンサ出力を生成する複数のMイメージセンサと、前記MイメージセンサのそれぞれのフレームレートはN/Mに等しく、

前記複数のMイメージセンサで前記シーンの画像を形成する1以上のレンズと、

前記複数のMイメージセンサのうちの何れか2つの開始時間における差が1/N秒の整数倍に近似的に等しいように、前記複数のMイメージセンサのそれぞれの露光期間の開始時間を制御するタイミングジェネレータと、  
を有することを特徴とする電子カメラ。

【請求項3】

あるシーンの出力の画像フレームの系列を生成する方法であって、

第一のイメージセンサから第一のセンサ出力を生成するステップと、

第二のイメージセンサから第二のセンサ出力を生成するステップと、

1以上のレンズを使用して前記第一及び第二のイメージセンサで前記シーンの画像を形成するステップと、

前記第一のイメージセンサの露光期間と前記第二のイメージセンサの露光期間を制御するステップと、前記第一のイメージセンサの露光期間は、前記第二のイメージセンサの露光期間よりも長く、

前記第一のセンサ出力と前記第二のセンサ出力の画像系列をデジタルメモリに実質的に同時に記憶するステップと、  
を含むことを特徴とする方法。